



超高齢化社会を セミナーで解説

岐阜信金

岐阜信用金庫は、超高齢化社会の到来を背景に関心が高まる介護をテーマにしたセミナーを、岐阜市橋本町の

ハートフルスクエアGで開いた。写真。一般の人約50人が参加した。

三井住友海上あいおい生命保険金融法人推進部課長の金子健一氏が講師を務め、公的介護保険制度などを解説。団塊世代が75歳以上の後期高齢者になる

「2025年問題」にも触れ、「日本は諸外国に比べて例をみないスピードで高齢化が進行している。25年には総人口の約3割が65歳以上の超高齢社会になることが予測される」などと述べ、介護への備えを助言した。

セミナーは、今年2月に三井住友海上火災保険と結んだ「地方創生に関する包括協定」に基づき開催した。